



## 社労士のつぶやき（71）固定給と社会保険

現在放映されている NHK の朝ドラ「エール」は、戦前から戦中、戦後にかけて日本の音楽界に大きな足跡を残した古関裕而（こせき・ゆうじ）をモチーフにした作品です。ちょうど今は戦時中、小関が多く戦時歌謡を作曲しているところが放映されていますが、二階堂ふみさん演じる小関の妻、音（おと）が、列に並んで家族人数分のお米の配給を受けるシーンがありました。ドラマの通り、当時多くの国民は働いて固定的な賃金を受け取り、ありとあらゆる生活必需品を配給で手に入れる、という暮らしをしていました。戦局が悪化するにつれ、配給も滞りがちになり、ますます国民の生活が苦しくなっていたのはご存じの通りです。

戦争が本格化する前は、労働者の賃金は出来高制が一般的で、働いてたくさん儲ければその分ラクな暮らしができました。もちろんそれも景気の波に左右されていましたが、いくら働いても固定的賃金のみ、という現在のブラック企業につながるような制度は、実は戦争を契機に制度化されたのです。そのため、国民は月 1 回の給料日から生活費を切り詰めて貯蓄するしかありませんでした。しかしその貯蓄すら愛国精神でもって戦時国債を購入させられます。敗ければパーですが。さらに不幸なことに、1942 年から厚生年金の制度が始まりました。固定的賃金から高額な保険料が天引きされることになったのです。厚生年金は、「日本がアメリカに勝って、みんなが 55 歳（当時）になったら働かず年金生活を送れる」という幻のような趣旨のもとで始まりました。つまり、労働者から天引きした保険料でアメリカに勝つための武器を作っていたのです。こうして国民は戦時中、素寒貧にされてしまったのです。

厚生年金は戦後、サラリーマンや OL の年金制度として復活しました。そして 21 世紀になって年金財政が悪化すると、保険料率を 2004 年から 17 年まで段階的に引き上げることが国会で決まりました。当時は長いなあ、なんて思っていました。ようやく 2018 年に料率が固定化され、ホッと一息つくことができたのです。しかし・・・。

今年 9 月。また保険料が上がりました。今度は料率ではなく、上限がアップされたのです。これまで給料が 70 万円でも、保険料は上限の 62 万円で計算されていました。これが 65 万円に引き上げられたのです。今のところ高給取りだけが対象ですが、分かりますよね、これからも国は、あの手この手で天引き、いやピンハネを強化するでしょう。その前触れです。

社労士事務所アジュール 高 龍弘

## 燃料カードの価格表【2020年10月分】

AMSカード ※共通利用可能		ENEOSビジネスカード		全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行			
油種	ENEOS・Shell・COSMO	油種	ENEOS	油種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	122.0 円	レギュラー	124.0 円	レギュラー	118.6～120.6 円	118.0～120.0 円	117.3～119.3 円
ハイオク	132.0 円	ハイオク	134.0 円	ハイオク	128.6～130.6 円	128.0～130.0 円	127.3～129.3 円
軽油	104.0 円	軽油	102.0 円	軽油	94.7～96.7 円	98.4～100.4 円	95.1～97.1 円
【価格は税抜】		【価格は税抜】		【価格は税抜】			
全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行							
油種	ENEOS ウイング	FLEX & TRUST カード (Shell)	TRUST & FLEX カード (出光)	エネクスフリート			
レギュラー	115.0～117.0 円	116.5～118.5 円	118.3～120.3 円	113.7～115.7 円			
ハイオク	125.0～127.0 円	126.5～128.5 円	128.3～130.3 円	123.7～125.7 円			
軽油	89.9～91.9 円	97.2～99.2 円	93.5～95.5 円	91.8～93.8 円			
【価格は税抜】							